

まちなか再生区域について

区域の名称	杭瀬地域まちなか再生区域
活性化を図ろうとする商店街の名称	杭瀬栄町 EAST 商店街（振）、杭瀬栄町商店街、杭瀬一番街商店街（振）、杭瀬本町商店街、昭和ショッピングロード、杭瀬中市場協同組合、杭瀬中市場組合、杭瀬北市場、杭瀬市場
区域の現状、特性及び課題	<p>【区域の位置】 杭瀬本町 1～3 丁目、杭瀬北新町 1～3 丁目、杭瀬南新町 1（1～3、5～16）～2 丁目、今福 2 丁目、杭瀬寺島 1 丁目、梶ヶ島（1～18）</p> <p>【区域の課題】 戦前から商業が集積し高度経済成長期に形成された工場や団地群に全国から住民が流入した杭瀬地域。1980 年代をピークに人口減少を続け空き家が増加、阪神大震災以降は商店街の店舗数も減少し、平成 28 年度調査では杭瀬商業地区内の店舗数 726 店のうち 298 店が空き店舗となっている。大阪からのアクセスのよさや JR 尼崎駅周辺は新たな開発で注目されるが、杭瀬区域内の高齢者割合は 32.4%と依然高い。</p>
まちなか再生に係る目標	<p>チャレンジ（これまでなかった新たな挑戦をまちぐるみで応援する）</p> <p>オープン（エリア外の新たなプレイヤーが参入できるような場を開く）</p> <p>アソシエーション（ゆるやかに連帯しながらプロジェクトをすすめる）</p> <p>リノベーション（地域資源を再評価し新たな価値を見つけて育てる）</p> <p>コ・リビング（ともにごきげんに暮らし働くことができる地域にする）</p>
実施が想定される事業の概要	<p>【主な協議会活動】</p> <p>①エリアプロモーション②オープンな場づくり（杭瀬アクションクラブ定例会議）③建物ストックの活用（空き店舗・空き家活用／空き家マッピング調査／リノベーションスクール）④新しい暮らしの提案（シェアハウス運営／家守プロジェクト）</p> <p>【まちなか再生事業】 商店街活性化事業、小規模再開発支援事業</p>
組織することが見込まれる協議会等の概要	<p>名 称：杭瀬地域まちなか再生協議会</p> <p>構成団体：杭瀬アクションクラブ、杭瀬社会福祉連絡協議会、左門殿社会福祉連絡協議会、地元企業など</p>